

黄昏ウォーク・免除川沿いに

(第62回くらわん会 2001/08/07)

8月7日午後5時、夏恒例の「たそがれウォーク」に90名が河内磐船駅に集合した。幸い今日は曇り空で、猛暑もやっと凌げる。ようやく拓けつつある磐船駅北から私部公園、住吉神社を経て私部の入り組んだ細い旧道を歩く。その一角に代官屋敷・北田家があり真っ白な土塀と旧家のどっしりとした門構えが歴史を物語っている。

交野山地から源氏の滝を経て流れ出る免除川沿いの遊歩道には、真っ白な夾竹桃の花が咲き、暮れかけた風景に涼やかに浮かびでていた。郡津まで続く遊歩道には桜並木も続き、季節には絶好の花見場所として親しまれている。京阪郡津駅に着く頃には夕闇が濃くなり明かりがともりだした。

天野川の遊歩道にでて枚方市駅周辺のネオンと夕焼けの空にむかって歩く。藤田川との出合いを過ぎる頃から、あいにく小雨が降り出した。昨年の黄昏ウォークでは激しい夕立にあったが、幸い激しくはならず済んだ。解散予定の枚方市駅岡東公園に着いた頃には雨もあがって、日がとっぴりと落ち、ネオンがまぶしかった。

その後、夕闇の町に三々五々と繰り出したグループもあり、人との出合いを大切にすくくらわん会の想いが続いていた。

富田朝己記



私部のバス通りに、なぜか海の神を祀る住吉神社がある

ようやく開発が始まったJR河内磐船駅北側に午後5時に集合



たそがれの町を磐船駅から私部公園に向かって歩き出す



私部公園でトイレ休憩、毎回担当世話人は大人数の使用に耐えるトイレ探しや、交通安全の確認で大変



私部の古い町並みに北田家・旧代官屋敷の白壁とどっしりとした門構えが歴史を語る





交野山地から流れ出す免除川は、改修の苦勞に応じて税を免除されたことからこの名がついた、免除川緑道
免除川沿いの遊歩道には、真っ白な夾竹桃の花が咲き、暮れかけた風景に涼やかに浮かびでていた



郡津駅前で小休止、周りの飲み屋の提灯にも明かりが入った
免除川は京阪私市線郡津駅周辺で天野川に合流する



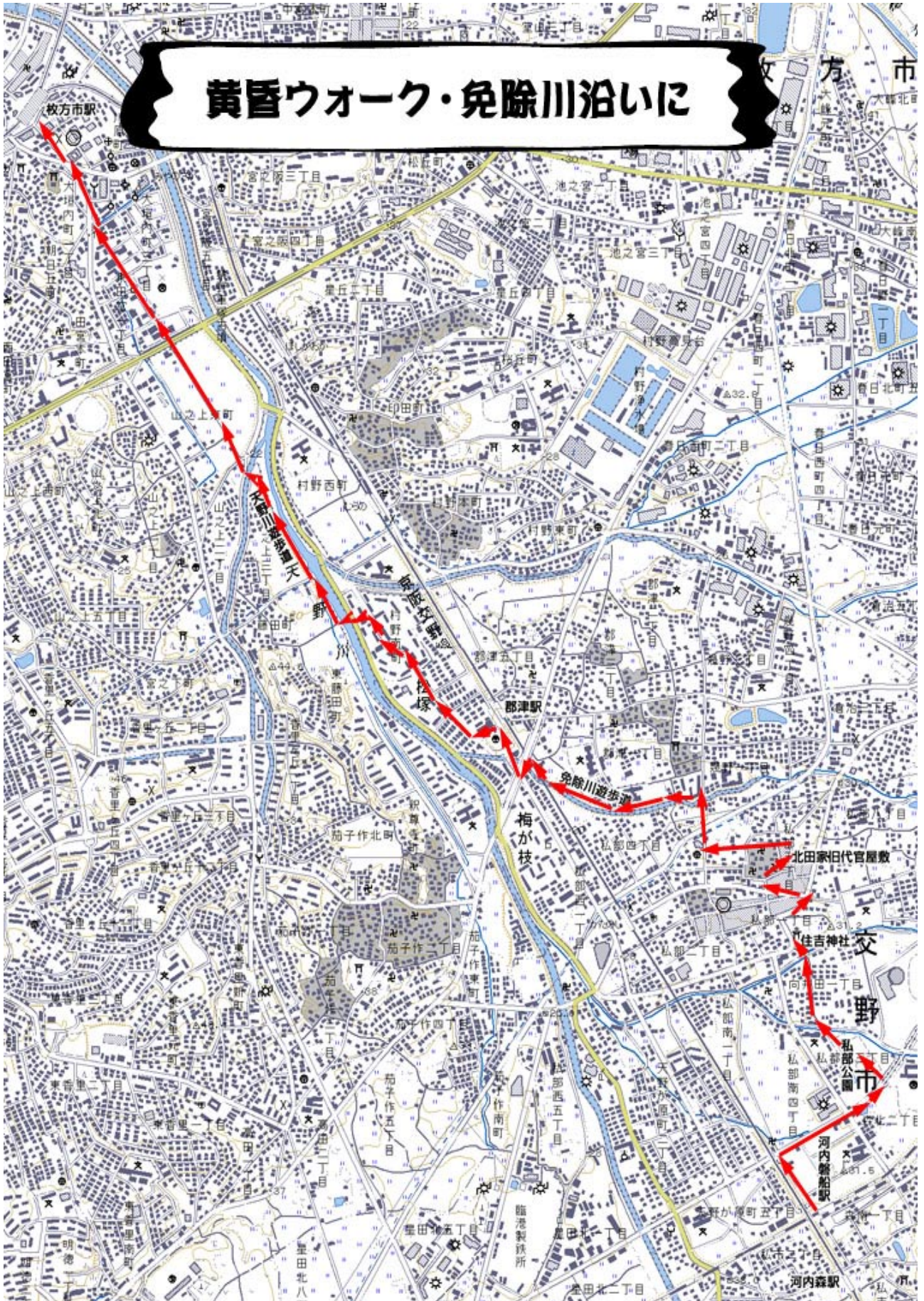
天野川の遊歩道にでて枚方市駅周辺のネオンと夕焼けの空にむかって歩く
京阪郡津駅に着く頃には夕闇が濃くなり明かりがともりだした



岡東公園に着くと雨も上がり、町のネオンが鮮やかだった。三々五々と夜の町に繰り出した方も
解散予定の枚方市駅岡東公園に着いた頃には雨もあがって、日がとつぷりと落ち、ネオンがまぶしかった



黄昏ウォーク・免除川沿いに



＜行程＞

河内磐船駅⇒私部公園⇒住吉神社⇒北田家・旧代官屋敷⇒免除川遊歩道⇒郡津駅前⇒天野川遊歩道⇒京阪枚方市駅 7km 2001年8月3日 111名参加